

市立小中学校のESD取組紹介

稲城第六小学校

総合的な学習の時間 「多摩川研究所」

本校の4年生は今、学校の北側を流れる多摩川に生息している野鳥と、外来種の生物について学んでいます。6月10日(月)に、「日本野鳥の会」の箱田 敦只 氏をお迎えして、学区に生息している野鳥についてお話をいただきました。子ども達は、見たことはあるけれど、名前を知らない野鳥や、鳴き声は聞いたことがあるけれど、姿を見たことがない野鳥の話に耳を傾けたり、フィールドワークをもとに、その興味深い生態を観察しました。

また、多摩川に生息している外来種の魚や水草にも注目し、7月2日(火)に「おさかなポスト」の山崎 愛柚香氏と、外来種の水草「オオフサモ」の駆除作業に取り組みました。子ども達はこれらの活動を通して、多摩川の現状について知るだけでなく、身近にある自然の大切さについて、改めて考え直すことができました。



稲城第五中学校

和服(浴衣)着付け体験学習

10月9日(水)に総合的な学習の時間で和服(浴衣)着付け体験授業を1年生が実施しました。講師に特定非営利活動法人 きもの笑福(わふく)の方々をお招きし、各クラス2時間ずつ着付けを体験しました。事前学習として「日本の文化 和服」を学習していたため、真剣に講話を聞く姿が印象的でした。

浴衣を自分で着るとい体験活動を通して、日本の衣文化の良さに気付くことができ、また世界の衣文化との違いについて様々な角度から考えを深め、広げる機会となりました。

授業後には、講師の方々にお礼のお手紙を一人ずつ書きました。着付け体験で学んだことや感じたこと、感謝の気持ちが丁寧に書かれており、この日の充実度がよく分かりました。



市長と中学生との懇談会を開催しました

10月31日(木)に「第25回稲城市長と中学生との懇談会」を開催しました。懇談会の内容は、「自己紹介・自分の興味があること」「生徒会活動の様子」「市長への質問」「市長とのフリートーク」等であり、市立中学校の生徒会役員が参加し、オンラインにて開催しました。

各中学校生徒会活動の様子では、「学校のよいところ」「生徒会が力を入れていること」「地域との交流活動」等、生徒会役員が直接報告する場面や、ビデオレター形式で報告した学校もありました。

市長からは、挨拶及び言葉をかけることはコミュニケーションの入口であること、一人の大人として参加するボランティア活動により、人を助ける立場を通じて社会を学ぶことの大切さ等について話がありました。

市長との懇談を通して、生徒会活動に対してさらに意欲が高まりました。また、自身の生活や将来を考える貴重な時間となりました。



▷問合せ 指導課

パリ2024パラリンピック競技大会ゴールボール男子金メダリスト 萩原直輝選手の講演会を開催しました

パリ2024パラリンピック競技大会のゴールボール男子、日本代表金メダリストの萩原直輝選手の講演会が10月9日(水)、母校の長峰小学校で行われました。小学校の思い出、調理師という夢を目指すも視覚障害者となり、その中でゴールボールに出会ったこと等のお話がありました。

最後に萩原選手からは「何が起きるか分からない人生、目標をもつことが大事」「日頃から感謝の気持ちを伝えてほしい」等のお言葉があり、とても素敵な講演会でした。



▷問合せ 指導課

図書コラボ給食を実施しました

稲城市では、読書の秋にちなんで図書コラボ給食を実施しました。本に関心を持つきっかけができるよう、小中学生に人気の本の中から3つの作品を選び、本の中に出てくる料理を給食で提供しました。

学校においては、図書コラボ給食のコーナーを設け、本の紹介をしたところがありました。

11月11日(月)は、「こまったさんのカレーライス」より、「こまったさんが作ったカレーライス」を給食で再現しました。

11月12日(火)は、「西の魔女が死んだ」より、本の中に出てくるおじいちゃんとおばあちゃんの思い出の味である「いちごジャム」と、おばあちゃんといの仲直りのきっかけとなった「トマトスープ」を味わいました。

また、11月27日(水)には「からすのパンやさん」より、本の中に出てくるいろいろな面白くてすてきな形のパンの中から給食では「かたつむりパン」を楽しみました。



「こまったさんのカレーライス」より



「西の魔女が死んだ」より



「からすのパンやさん」より

▷問合せ 学校給食課